

町内小学校・中学校  
の取組や活動

医者は、しっかりと勉強していなければ、患者さんの病気を治すことはできません。学生の時遊んでばかりいたのでは、医者にはなれません。いや医者になつたとしてもヤブ医者です。とても大切な命をまかすことはできません。そう思いませんか。

シユバイツァー（ノーベル平和賞受賞）は、少年時代「三十歳までは自分のために勉強し、三十歳を過ぎたら、その勉強を世のため、人のために役立てる」と決意しました。そして、



第 9 号

発行:金武町教育委員会  
住所:〒904-1293 沖縄県  
国頭郡金武町字金武7758  
TEL:098-968-2991  
FAX:098-968-4963  
E-mail:yukio\_g@town.kin.okinawa.jp

三十歳から医学を学び医師とな  
り、アフリカに病院を建設し、  
生涯医療に献身しました。

本来、勉強とはそういうものだと思います。自分のためでも

医者は、しっかりと勉強していなければ、患者さんの病気を治すことはできません。学生の時遊んでばかりいたのでは、医者にはなれません。いや医者になつたとしてもヤブ医者です。とても大切な命をまかすことはできません。そう思いませんか。

るのです。勉強をする人を「眞面目くさって」とか「ガリ勉」と悪く言う人は間違っています。勉強をしていなければ、社会に出ても役に立つ人にはならないのです。やっぱり、読み・書き・計算を基礎とした学問は必要なのです。

授業を真剣に受け、家庭学習をし、勉強をしつかり頑張ろう

基礎学力

## 基礎学力

へこたれない体と精神力が必要です。規則正しい「早寝・起き・朝ご飯」の生活習慣を身につけると共に、体力の向上に努め、ねばり強く最後までやり通す精神力、健康安全に努める能力を育てるのです。

健康な体・精神力

**健康な体・精神力**

く二十一世紀の日本や世界は、  
いったいどうなつていくので  
しょう。

だり、悲しんだりできる力、平和を愛し、周りの人を思いやる心です。さらに、善惡の判断がしっかりとでき、正しく行動できる能力を育てる事です。

本校の教育目標

## 基礎学力

です。規則正しい「早寝・早起  
き・朝ご飯」の生活習慣を身に  
つけると共に、体力の向上に努  
め、ねばり強く最後までやり通  
す精神力、健康安全に努める能  
力を育てることです。

### 学校教育目標で育成する 三つの基礎的な能力

これから、皆さん生きてい

思いやりの心

二つめが思いやりの心です。  
人の気持ちがわかり、共に喜ん

三つの教育目標を掲げ、全職員で目標達成のために取り組んでいます。

## 教育目標

★目標を持つて自ら学ぶ  
生徒の育成

★明るく心豊かな生徒の  
育成

★ねばり強く自ら行動す  
る生徒の育成

学校の教育目標は、学校、家庭、地域の連携がなくては達成することができません。どうか、保護者、地域の皆さん、将来を担う子ども達の成長・発達のため、本校の教育目標をご理解いただき、ご協力、ご支援をよろしくお願い致します。(できるだけ学校に足を運んで、授業を参観してください。また、行事等の取り組みやPTAの自主的な運営に協力ををお願いします。)

### 中学校の三年間

中学校の三年間は、思春期と呼ばれ、背丈が伸び、趣味や友人関係が変わり、反抗と甘えが

入り交じる時期です。母親が子どもの変化に振り回される事があります。

一番大切なことは、子どもの生活や行動の様子の変化を注意してよく見てあげることです。

特に服装・髪型・持ち物・学校生活の様子など、子どもの生活態度や考え方の変化をつかんでおく事だと思います。

次に大切なことは、学校生活や社会のきまりを破ることがあれば厳しく注意することです。

厳しくとは、体罰を加えたり、感情的に怒ることではありません。絶対に妥協せずねばり強く指導することです。子どもとのトラブルをさけようとして妥協することはしつけを崩す第一歩です。

第三は学力の問題です。学習

について行けない子は、生きがいを失いがちです。その心のす

き間に非行が入ってきます。勉強がわかる喜びを失わせてはいけません。(授業の様子を見に

来てください。)

スポーツや趣味も大切ですが、

これだけに頼ってはいけないのです。学力は子ども達の夢や生きる力を育てるのです。

中学時代は、生活、しつけ、生きがいを学校と家庭が協力して育てることが大切なのです。

持つてこない  
三、鉛筆を使う

来てください。)

### 『金武小学校学校便り(啐啄同時)から』

#### 学年集会

四月十四日(火)は教育計画に設定された学年集会の日、朝八時十五分から二十分間担任と学年全児童が集会を開きます。新学期スタートの学年集会は各学年における守るべき事や、取り組むべき事を各学年で確認し実行することを約束しました。



#### 三年

一、体育館でのボールけりはしない。

二、教室の北側ベランダには出ない。(危険)

三、トイレは三年用を使用する。

#### 二、学習用具以外は学校に

#### 五年

下記は全学年共通事項

一、朝の活動時間八時～八時

十分



六年

〈必要とされる人間になろう〉

- 一、朝の活動は全員参加しよう  
(今後場所分担)
- 二、誰にでもあいさつや返事をきちんとする

「**啼**」は鶏の卵がかえる時、殻の中でヒナがつつく音  
「**啄**」は母鶏が殻を噛み破ること。子どもを教育する時、この機会を逃したらまたとない得難い良い時期（後回しがきかない）

### 涙啄同時の意味

### 家庭学習の習慣を

がんばりノート提出冊数  
(各学年一人当平均)

H20	H19	年度
6.0	6.5	1年
7.0	6.0	2年
6.5	4.5	3年
9.0	8.0	4年
7.0	4.0	5年
6.5	5.0	6年

「確かな学力」を身に付ける上で日々の授業の充実が重要であり、学校では校内研修（理論研修・研究授業）を通して授業改善に努めています。

そのために、授業がどの学級でもスムーズに行われるようになってきましたが、徐々に内容・冊数が

新学期スタート時は学習時の決まりや生活面におけるルール等をみんなで確認し効率的な学習や安全を確保しながらみんなが気持ちよく生活が出来るよう約束出来ました。

各学年で約束しましたが、どの項目も全学年共通です。特に五年・六年で約束した項目は家庭の協力が必要であり、学校・家庭連携の一つとして取り組むべき良い機会と考えています。

どの学年もやる気を出して今、学習・朝の活動・係・委員会活動・部活動等が意欲的に継続出来るように声かけと応援をお願いします。

生命の誕生と同様に成長していくその時に合った関わり方（タイミング）があります。  
園児や児童においても学年・個人の発達段階に応じた生活習慣・人との関わり方・学習内容等を身につけていくことが重要です。その時期（適時）を逃すと十分身に付かないか、後に余計に時間と労力を費やす結果になります。

新学期、子どもの適時を理解するために子どもと向き合うと共に家庭訪問で保護者・児童・担任としっかり話し合うことをお願いします。

「ルールづくり」を数項目確認しスタートしました。  
授業で理解した内容が身に付き・定着していくには二度・三度繰り返すことでの定着度が高まります。その意味で「家庭学習の習慣化」を学校の一貫徹底の項目に設定しています。

平成十九・二十年度の学力・生活調査結果から学力の向上は本校の大きな課題となっています。その結果の背景の一つである家庭学習時間、睡眠時間、テレビ視聴時間等に家庭・学校・地域で取り組みたいと考えています。

その結果の背景の一つである家庭学習時間、睡眠時間、テレビ視聴時間等に家庭・学校・地域で取り組みたいと考えています。

改善してきました。今年度は多くの児童が月一冊、年間十冊をクリア出来るよう期待しています。家庭学習の仕方について表紙内側に表示されていますので、今一度ご覧になり学習環境づくりをお願い致します。

### 『中川小学校便り(中川つ子)から』

#### 先人たちにみる 教育への思い

(一) 山上憶良

(約千三百年前の万葉歌人の一人)

金(しろがね)も

銀(こがね)も

なにせむに勝れる宝

子にしかめやも

意昧することは

金も銀も宝石も宝物とみんな

欲しがるが、それらは宝物ではない。子どもに勝る宝物など他にはない。

同じく憶良が夜の宴会で歌つた歌

人材育成こそ最高の資源である。

人材育成こそ最高の資源である。

人材育成しかない。

憶良らは今はまからむ  
子泣くらむそ  
そを負う母もわれを  
待つらむそ

意味することは、憶良はもう  
帰りますよ 子供が私を泣いて  
待っている。子を背負っている。  
妻も私の帰りを待っている。

洋の東西を問わず、時代を問  
わず、人材育成は大事である。  
本人や家族、そして地域や社会  
全体のためにも。

沖縄でも、かつて、次のように  
なことを言った人がいる。

「人材をもって資源と為す」

上記のいづれも、けだし名言

上記のいづれも、けだし名言  
と思う。

洋の東西を問わず、時代を問  
わず、人材育成は大事である。

「合図」をする動物はいますが  
「あいさつ」をするのは人類だけだといわれています。あいさつは漢字では「挨拶」と書きますが、これは、相手に対し「心を開く」という意味だそうであります。互いにあいさつを交わり心を開けば仲良くなります。

気持ちよく一緒に行動できます。  
ところで本校の児童の登校・  
下校時におけるあいさつの状況  
はどうかといいますと、丁寧に行っている児童が大勢いる中で、ごく少数ではありますが、きちんとしない児童もいます。今後もあいさつについて奨励していきたいと思います。

「あいさつ いっぱい」  
「読書 いっぱい」  
「花 いっぱい」  
「歌声 いっぱい」

の学校にしよう

本校のスローガン（運動の主張を簡潔に表した標語）に右記の四つがあります。すばらしい取組だと思います。このことについて少し考えてみたいと思います。

一年単位の生活を考えるなら、米や麦、豆などの穀物を植えたらいよ。

十年単位の生活を考えるなら、ミカンなどの果樹を植えたほう

がよい。

百年単位の生活を考えるなら、

例えればチンパンジーやイルカ、

ミツバチなど、他の動物にも

何によって補うかといいますと、多くのメディアなどです。その中の一つに本があります。読書をすることによって未知のこと

を間接的に体験できます。そのことにより、成長します。また、私たちは、考えたり記憶したりするとき、そして、いろいろな情報を受けたり、諸々の情報を相手に発信するときも言葉で行います。読書は多くの言葉を身につける上で最も有効な手段です。過去、多くの小学生、中学生を見てきましたが、読書好きの子は、行動に落ち着きがあり、学力も自分の持っている力を充分に發揮します。読書活動を学校でも、家庭でも大事にしたいものです。

三つ目に「花 いっぽい」です。本校では、児童がたくさんの花を育てています。花を植え、水遣りなどを日常的にすることは多くの労力を必要とします。そのことを児童がすることにより、「勤労精神」が身に付きます。これは生涯にとって大切なことです。また、美しく咲いた花を見ることにより、美しい物を美しいと感じる情操教育にもなります。

最後に、「歌声 いっぽい」であります。人前で、上手下手に関係なく大きな声で歌を歌うことができます。気持ちは、気持ちにゆとりがあり、他人に対し心を開いています。

また、歌が好きな人は、気持ちが安定しているということの証左にもなるようです。歌を歌ったり、いろいろなジャンルの音楽を聴いたりすることは、それが趣味ともなり、豊かな人生を送る一つの要素にもなると生きます。

以上、本校のスローガンについて考えてみました。どれも大事なことだと思います。学校においては、ことある毎に随時、指導してまいりたいと思います。

ご家庭におかれましてもご理解いただけます。

『嘉芸小学校便り(嘉芸つ子)からすべての子どもたちに 確かな学力を!』

学校教育の目標は、子ども達一人ひとりに自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく課題を解決する資質や能力!! 「生きる力」をつけることである。まずは、基礎学力をしっかりと身につけさせよう!

基礎学力とは、読み・書き・計算に代表される、すべての学習を成立させる上で必須の基礎的な知識・技能である。それが身についていなければ、学習指導要領に示されている各学年の各教科等の目標・内容等を履修することはできない。であれば、一人ひとりの子どもたちが社会に出て自分らしく輝きながら生きていく「生きる力」を身につけることは、困難である。

子どもたち、一人ひとりを輝かせたい!!

子ども達の願う夢を実現できる資質を、最大限に育みたい! 今、左記の目標を全教室に掲げ、全ての教諭・職員が一点集中して取り組んでいます。まず第一に、子ども達と目標を確認しあい、そして、保護者のみなさんと共通理解し、地域の方々のご理解とご協力を得て、「読む力」「書く力」「計算力」を、しっかりと育んでいきます。

連携の輪をよろしく願い致します。

での学習がしっかりと定着していないと以降の学年での学習理解がきびしくなります。

そのため、三年生からの基礎基本をしっかりとさせたいと考えています。学習したことの確定着にあたっては、家庭学習での復習を促していきたいと思います。ご家庭での励ましをよろしくお願い致します。

### 書く力をつけよう

【がんばりノート】昨年度のがんばり、なんと百七十九名で千七百九十二冊!!ひとり平均十冊ご家庭での励ましのお声かけありがとうございました。子どもたちは、一年間にひとり平均十冊もがんばりノートを頑張り抜きました。とても長い時間机に向かい、学習時間をかけ、がんばり抜いたようです。今年度も引き続き、年間八冊を目標に全児童が、がんばりノートを頑張ることで学習習慣を身に付けていくよう励ましていきたい。



### 福井県学校訪問 シリーズIV 視察研修報告

三日目：越前市教育委員会の案内で味真野小学校を訪ねました。

ノート製作に係る費用（約十六万余円）は、今年度も屋嘉区、伊芸区の区長さんのご理解ご支援を得て作成させて頂きます。スタートして二ヶ月足らず、すでに七十八名（二年以上）の子どもたちが二冊目を頑張っています。机に向かう、鉛筆を持つ、文字を書くそんな当たり前の習慣を今、しっかりと身につけていくことで書く力も育みたい。

最初に授業を参観させて頂きました。どの学級も木田小学校に負けずとも劣らない、活気がありました。メリハリのある授業が展開されていました。電子黒板、拡大装置等の電子機器を駆使した授業もあり、教育的効果を生むものであれば支援を惜しまないという教育行政の姿勢が窺えました。もちろん教育現場の取組が裏付けにならなければなりませんが、音楽の授業（六年生）を参観した時の様子が上の写真ですが、気持ちが一つになった動きに合わせたハーモニーには感動しました。先生方は感動の余韻を残しながら校長室に通され、味真野小学校からの説明を受けました。

その内容について箇条書きで述べたいと思います。

○平成十七年度に、文部科学省の「確かな学力育成」のための実践研究事業推進校の指定を受け、平成十九年度発表会を開催

最初に授業を参観させて頂きました。どの学級も木田小学校に負けずとも劣らない、活気がありました。メリハリのある授業が展開されていました。電子黒板、拡大装置等の電子機器を駆使した授業もあり、教育的効果を生むものであれば支援を惜しまないという教育行政の姿勢が窺えました。もちろん教育現場の取組が裏付けにならなければなりませんが、音楽の授業（六年生）を参観した時の様子が上の写真ですが、気持ちが一つになった動きに合わせたハーモニーには感動しました。先生方は感動の余韻を残しながら校長室に通され、味真野小学校からの説明を受けました。

○研究指定を受けて学校は、児童の実態を把握するためにアンケートをとった。

#### 【アンケートから】

☆寝る時間の遅い子が多い

☆一日二時間以上テレビやゲームに費やしている

☆朝起きるのが遅く、自分で起きられない。



この内容について箇条書きで述べたいと思います。

○平成十七年度に、文部科学省の「確かな学力育成」のための実践研究事業推進校の指定を受け、平成十九年度発表会を開催

☆家庭学習時間が少ない。  
☆国語・算数共に関心・意欲・態度が低い  
☆全般的に全国平均より低い成績である。

このような実態を踏まえ、生

活習慣の改善と分かる授業の実践を核として研究を進めていくことに決めた。

と設定してテーマの実現を目指し、「授業改善」、「生活改善」という二本の柱を立ててスタートした。

### 【目指す児童の姿】

☆規則正しい生活習慣が身に付いている。

☆学習の基礎基本が身に付いている。

☆興味関心意欲を持つている

☆授業が分かり、充実感・達成感をあじわっている。

☆自分の思いを伝え、共に学びあっている。

☆読書の奨励（推薦図書・親子読書・朝読書）

☆辞書の常時活用

このような児童の姿であれば確かな学力の獲得に繋がると考えている。

○「児童に規則正しい生活習慣と学習の基礎基本が身に付けば、それが学力向上につながるだろう。」等の仮説を立てて研究テーマを

### 『子どもが自ら学ぼうとする力の育成』

～自分の思いを伝える子・高め合う子をめざして～

五年：算数的表現力を高めるためのグループ活動  
六年：国語の力を生かした、算数的な活動と話し合い活動

### ② 家庭学習時間の確保

各学年でねらいを設定し、創意工夫された取組が説明されました。

一週間単位で読書と学習の時間を、朝の会でチェックし家庭学習を見直す。

### 【読書の奨励】

☆朝読書：月々木の朝に実施。  
＜基礎基本の充実＞

好きな本を十分間静かに読む

国語（全ての基本と捉えている）

☆推薦図書：低中高学年別に読ませたい本を選んで薦めた

☆親子読書：一週間親子で同じ本を読み話をする。

☆言葉遊びの掲示

### 【生活改善に向けて】

一日を規則正しく生活する子

に育て、確かな学力を身に付けるための土台を作る。こう

いうねらいをもつて次のように

取り組んでいる。

① さわやかチェック・生活習慣チェックの実施

一週間単位で規則正しい生活

に關する項目を、朝の会で

チェックし、良い生活習慣に

もって行くための改善点を知り、生活を見直す。

### 【その他の取組】

☆集会での取組

クラスごとの暗誦発表を実施

内容は学級に任せ、全学級が対象で月ごとにテーマが変わ

る。『あじまのタイム』を計画的に割り当てる。感想交流は温かい内容であったようです。

☆掲示や特設コーナーの設置  
算数遊びコーナー、言葉遊びコーナー、スキルアップコーナー



### ☆地域との意見交換会学期一回実施

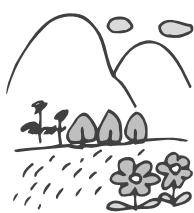
味真野小学校では、『分かる授業とは、興味・関心・意欲を喚起するものであり、「やり遂げた!やつて良かった」という充実感のあるものだろう。その中で、自分の思いを伝え、学び合う集団に育てていくことが確

かな学力を身に付けることにつながるだろう』と説いています。

大切だと考えています。  
私の言う基本姿勢とは、『忘れ物をしない、板書はノートに書き写す、分からることは質問が出来る。復習・予習をする。等々を言う。』

これを定着させるのは、根気の要る取組だが、おぎなりにされると、どんな取組も適当に流れてしまうことが考えられる。

適切な視点で、多岐にわたる取組に感心し、大変参考になりました。



野菜は健康を守る為には、欠かせないものです。そして、私達の体の中で、健康で暮らせるように、大切な働きをしています。野菜を食べないと、ビタミンAやビタミンC、食物せんいが不足してきます。不足すると体の粘膜や細胞の働きが低下して、カゼを引きやすくなったり、肌がカサカサになったりします。又、野菜には、食物せんいが多いので、便秘を防ぎ、大腸ガンの予防もしてくれます。

このように野菜は、私達の体に必要な栄養素をたくさん含んでいます。しかし、炭水化物や脂肪、たん白質のように、体に蓄えておくことはできませんので、毎日、摂らなくてはいけません。又さらに、炭水化物、脂肪、たん白質がエネルギーや、

筋肉に変わるために手助けをしてくれます。だから、野菜がなければ、ごはんやパンや肉・魚・卵なども充分役に立つことはできないのです。車で言うと、オイルが切れると、うまく走らないくなるのと同じで、野菜のとり方が少ないと、いくらエネルギーのもとやたん白質が、たくさんあっても、体はうまく成長しません。

昔はほとんど、毎日いろいろな形で、家庭の食卓は野菜が中心でしたが、今では生野菜や添え物として食べられる存在になりました。

しかし、このような状態が続を起こすと考えられ、実際、生活習慣病の低年齢化が進んでいます。特に食品添加物の多い、加工食品や、動物性脂肪を多くとる食生活の中では、野菜が、食品添加物を体の外に出す働きもしていますので、いつも野菜は欠かせないものです。

## 学校給食と 食生活

### 野菜を毎日食べよう

給食の残量を見ても、野菜を中心の献立は残量が多いのが実態です。こども達は、好き嫌いしないで、残さず食事をすることの大切さはわかつていても、実際は健康を考えて食事をしてのところまでは、育っていません。これから食生活は、自分の健康を維持する為の能力を身に付けることが求められます。

そうした食生活の主役が野菜といえます。

一日に摂るべき野菜の目安量は三百グラムです。刻んで片手の手のひら一杯が百グラムです。単に野菜といつても、緑黄色野菜（色の濃い野菜で中まで同じ色）と淡色野菜（切った時が白っぽい）があり、それぞれ大切な働きがあります。百グラムは緑黄色野菜から、あと二百グラムは淡色野菜から摂ります。野菜をバランスよく、三百グラム取るには、朝食、昼食、夕食の三食とも野菜を使った食作りを心がけましょう。

## 教育委員会新採用職員紹介



社会教育課  
社会教育主事補  
與那城 将

今年度より学校教育課に配属されました。金武町にきてまだ三年ですが、金武町の教育のために一生懸命頑張りたいと思います。



学校教育課 川岸 信行

### 人事異動



教育指導主事  
山川 幸宏



社会体育係  
国吉 歩



学校教育課 課長  
仲間 光明

四月より新採用で学校教育課に配属されました。地域の皆様と共に金武町の教育行政の為に自分が出来ることを精一杯頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。



学校教育課 伊芸 麻希

## 金武町児童陸上競技大会 日程変更のお知らせ

予定していました金武町児童陸上競技大会が、全国小学生陸上競技交流(沖縄)大会と日程が重なったため、次のとおり日程を変更いたします。

変更前 平成21年6月13日(土)

変更後 平成21年6月23日(火) 慰霊の日

## 平成21年度中央公民館講座開講式及びサークル、利用者団体紹介

去った4月22日(水)、午後6時より町立中央公民館大ホールにて公民館講座開講式及びサークル、利用者団体紹介がありました。

中央公民館は、「あなたが主役です。」をモットーに町民一人ひとりが気軽に参加でき、自分自身の時間を活かせる学び舎です。

今年度の講座も、生活健康6講座、一般教養8講座、地区公民館支援5講座、趣味10講座、親子夏休み企画2講座、企画事業7講座と計33で計画され、充実した内容となっています。また、サークル・利用者団体数も年々増え、現在では30団体となり大変盛り上がっています。

今回は16団体の舞台紹介、展示発表がありました。出演した団体の方の「元気、やる気、本気」が伝わり、会場のみなさまが興味・関心をもち、好評の中終了しました。

町民のみなさま、ぜひ、自分が学びたい講座、サークル活動へ参加してみて下さい。



## 金武町文化協会

会長 宮内 哲至

金武町文化協会は「会員相互の連携を密にし、広く町民の文化の創造と振興に努めると共に金武町の文化向上を図ること」を目的として、一九八八年

二月に設立されました。昨年、第一回金武町文化祭を開催し、多くの町民の方々から賞賛と激励の声がありました。私達は誰もが文化芸術活動を鑑賞し、又これに参加する者がその能力を十分に發揮できるような場所の提供と、これから我町を担う子ども達が芸術に触れて豊かな感性をはぐくむと同時に町の伝統

文化を身につけ継承していくことが子供の調和のとれた人格形成のために不可欠であるとともにコミュニケーションを活発にして、生きる喜びをもたらし、豊かで活力にあふれた社会を実現するために重要なと思つています。又地域の文化が豊かなればなるほど町民が文化に触れ個人々がその個性を發揮し

元気になるだけではなく、他人との協働を通じて多くの人を元気にし、町民の憲章である「かおり高い文化の町」を作れるとともにコミュニケーションを活発化させることで、町民の方々が生涯学習も兼ねて、いつでも加入できるように門戸を広く開けて待っています。

# 全国春の高校バレー大会 出場

去った三月二十九日～二十六日、

東京都の国立代々木体育館で行われた全国春の高校バレー大会に、本町出身で西原高校の宮城奈菜子さんが出場し、次の様に感想を述べてくれました。

西原高等学校  
一年

宮城奈菜子

年の頃から夢見た憧れのオレンジコート。

そのオレンジコードを目指して西原高校へ入学し、春校に向けて一生懸命練習しました。

二月の県予選では、見事優勝し、何ともいえないワクワクした気持ちになりました。

全国大会は第一試合、山形県の米沢中央高校と対戦し、三セット目は二十八一二十六とデュースまで競り合いましたが、セットカウント二一一で負けて



しまいました。

この試合で沢山の課題も見つかり、今度はインターハイに向けて課題を克服していきたいと思います。私が、夢のオレンジコートでプレーできたのも、町民の皆様のご協力と励ましのお陰だと思っています。本当にありがとうございました。これからも、応援よろしくお願ひします。

五月十日（日）町営グラウンド他で金武町民体育大会軟式野球競技（主催：金武町体育協会）が行われました。

真夏を思わせるような日差しが降り注ぐ中、太陽にも負けないような熱戦が繰り広げられました。決勝戦は二区対屋嘉地区で行われ二区が圧倒的で打線で見事優勝に輝きました。

